

高石シーサイド フェスティバル 2019

～ 高師浜駅 100 周年を祝う～

8月18日（日）開催

南海高師浜駅は今年の10月、大正8（1919）年の開設から100周年を迎えます。高師浜線活性化を目的に始まったシーサイドフェスティバル。ステージイベントでは、100周年を記念したトークショーを開催します！

★ 今年メインステージの場所が変わります！



- 花火の打上直前は大変混雑が予想されますので、時間に余裕を持ってご来場ください。
- 車での来場は控え、公共交通機関をご利用ください。また、自転車は必ず地図上の駐輪場へ止めてください。
- 荒天中止。開催の有無については、当日午前8時以降に☎0180(997)040へお問い合わせください。

問合先 高石シーサイドフェスティバル実行委員会事務局
TEL：072(275)6138 / Eメール：ti-sei@city.takaishi.lg.jp



高師浜駅がつなぐ100年の歴史

高師浜は古代以来、白砂青松の景勝地として、祐子内親王家紀伊が「音に聞く高師の浜のあだ波はかけじや袖のぬれもこそすれ」と詠んだ和歌をはじめ多くの和歌に詠み込まれ、天下にその名を知られていました。この地は駅の開設、高級住宅地としてのまちづくりとともに発展してきました。

■ 高師浜駅は地域の発展のために

当時、地元の名士であった山川七左衛門は地域の開発を進めるために土地を寄附し、高師浜線の誘致に尽力しました。大正7(1918)年には伽羅橋駅が完成し、翌年には高師浜駅が設けられました。

駅の近くにあった海水浴場には、大正から昭和初期にかけて一夏に約百万人の観光客が訪れ、高師浜周辺は人々が集う大阪全体のリゾート地として発展しました。



▲高師浜駅



▲海水浴場

■ 高師浜は「高級住宅地」として

大正8(1919)年、高師浜駅の設置をきっかけに高級住宅地の開発をめざした南海土地建物株式会社が設立され、高師浜を中心に近代的な住宅の建設が進められました。

大正12(1923)年には、山川七左衛門の弟である山川逸郎らがアメリカ帰りの感覚を活かし、洋風住宅街のキャラバン園を開きました。その名残は国の登録有形文化財「赤木家住宅」として今でも残っています。

この高級住宅地化は現代の高石市の街並につながる礎を築きました。



▲キャラバン園



▲赤木家住宅

スケジュール

- 16:45 オープニングアクト
【出演：キッズチアダンス】
- 17:00 開会式典
- 17:10 吹奏楽部演奏
【出演：高石市民音楽団】
- 17:40 高石音頭
【出演：暁光雄】
- 18:00 ミュージックライブ
【出演：清水久美子】
- 18:30 桜花昇ぼるミニコンサート

出演：元OSK日本歌劇団・トップスター
桜花昇ぼる



- 19:00 高師浜駅100周年
記念トークショー

出演：斉藤雪乃



◀大阪出身の鉄道大好きタレント。全国の鉄道駅を巡り、高師浜駅も訪問済み！高師浜の歴史を織り交ぜたトークをお楽しみください。

19:30 花火打上開始

- 20:00 和太鼓パフォーマンス

出演：鼓聖泉



- 20:25 津軽三味線ライブ
【出演：大野敬正】

- 20:45 フェスティバル終了

※イベントの内容・スケジュール等は、予告なく変更となる場合があります。